

2010年度

科目名	文化財学研究指導及び演習(文化財構造論)			
担当教員	梯 信暁			
配当	文修1・文博1	コード	12730	
開期	通年	講時	月曜日2限	単位数
授業テーマ	日本仏教史の研究			
目的と概要	日本仏教史の領域において、重要な先学の研究を取り上げて講読し、研究の方法を学びます。講読の目的は、思想史研究の方法習得にあります。あわせて政治や社会の動向、時代の思潮を形成する文化的諸要素等との関連等を視野に入れて、総合的な研究をめざします。今年度は、伊藤唯真『聖仏教史の研究』を講読します。また、各時間の一部を受講生の研究経過報告にあてます。			
成績評価法	授業中の発表50%・レポート50%			
テキスト	各自用意できるように指導します。			
参考書				
履修に当たっての注意・助言				
講義計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：講義の目標と内容の概説 2. 法然の回心と浄土宗の開立 3. 法然の回心と浄土宗の開立 4. 遊蓮坊円照と法然の下山 5. 遊蓮坊円照と法然の下山 6. 法然の思想進展と教団の生成 7. 法然の思想進展と教団の生成 8. 念仏聖教団の性格と形態 9. 念仏聖教団の性格と形態 10. 勢観坊源智の造像勸進と念仏衆 11. 勢観坊源智の造像勸進と念仏衆 12. 玉桂寺阿弥陀仏像造像結縁交名にみる法然教団 13. 玉桂寺阿弥陀仏像造像結縁交名にみる法然教団 14. 念仏聖の活躍と社会的基盤 15. 念仏聖の活躍と社会的基盤 16. 貴族と能声の念仏聖 17. 貴族と能声の念仏聖 18. 法然伝に現れた聖覚像 19. 法然伝に現れた聖覚像 20. 明遍の行実と伝記 21. 明遍の行実と伝記 22. 寺院造営と融通念仏勸進 23. 寺院造営と融通念仏勸進 24. 村落神社の堂庵と社頭聖 25. 村落神社の堂庵と社頭聖 26. 中世村落における勸進について 27. 中世村落における勸進について 28. 今堀十禅師社の成立事情 29. 今堀十禅師社の成立事情 30. まとめ 				